

【生団連について】

団体名	国民生活産業・消費者団体連合会 『略称：生団連（セイダンレン）』 （コクミンセイカツサンギョウ・ショウヒシヤダントイレングウカイ）		
設立趣旨	<p>終戦から高度経済成長を経て成熟した時代を迎えた今日の日本は、豊かで便利な生活を謳歌する一方で、国内にあっては少子高齢化や人口減少等の構造変化が急速に進行し、また、世界的な視点に立ってみれば、人口の爆発、気候の変動、資源や食糧の逼迫等々の国民の生存や生活に深刻な影響を与えかねない諸課題が立ちはだかっています。</p> <p>当連合会は、国民の生活・生命を守るために産業界と消費者団体とが結束する日本で初めての団体として、平成23年12月に設立されました。「災害対策」、「食品廃棄削減」、「エネルギーと環境」、「人口減少と超高齢社会」などのテーマを中心に活動を展開中。国民が直面する諸課題が山積する中、国任せ・政府任せではなく、自らがこれらの課題に挑む組織として、“生活者視点”、“実践と発信”及び“異業種間、事業者・生活者間の相互理解の増進”を心がけた活動を進めています。</p>		
役員	名誉会長 会長 副会長 専務理事 常務理事 理事 監事 参与	清水 信次 小川 賢太郎 田 尻 一 柿沼 トミ子 山口 典子 高 橋 幸一 大木 美智子 阿 南 久 横 山 清 坪 井 明 治 奥 野 長 衛 谷茂岡 正子 清 水 信 次 川 野 幸 夫 高野 吉太郎 赤 松 憲 齋 藤 充 弘 井 上 淳 33名 27名 2名 小山 敬次郎	（日本チェーンストア協会 会長） （㈱ゼンショーホールディングス代表取締役会長兼社長） （オール日本スーパーマーケット協会 会長） （埼玉県地域婦人会連合会 会長） （堺市消費生活協議会 会長） （公益社団法人札幌消費者協会 会長） （一般財団法人消費科学センター 代表理事） （一般社団法人消費者市民社会をつくる会 代表理事） （一般社団法人新日本スーパーマーケット協会 会長） （全国商店街振興組合連合会 理事長） （全国農業協同組合中央会 会長） （特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟 会長） （日本小売業協会 会長） （一般社団法人日本スーパーマーケット協会 会長） （一般社団法人日本専門店協会 会長） （日本百貨店協会 会長） （一般社団法人日本ボランティアチェーン協会 会長） （日本チェーンストア協会 専務理事） （一般社団法人日本経済団体連合会 元専務理事）
会員数	551企業・団体（平成29年6月14日現在） 団体会員：28団体 企業会員：514企業 特別会員：9団体（消費者団体等）		
所在地	〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル8階 TEL：03-6833-0493 FAX：03-6833-0494 E-mail：jimu@seidanren.jp http://www.seidanren.jp		

平成29年度 事業計画の概要

国内外情勢の変化の加速、先行き不透明さと不確実さが増す中、「国民の生活・生命を守る」という理念を掲げた生団連が今こそ存在価値を発揮すべく、国民の生活・生命に深く関わる課題の解決に取り組んでまいります。

《重点課題》

以下の4つの具体的な重点課題に取り組んでまいります。

災害情報ネットワークの構築

- ◆被災地、被災者の正確な情報の収集・集約の仕組みづくり
- ◆会員企業・団体さらに政府・自治体との上記で得た情報の共有による、被災地の実情に則した支援活動の展開

分別・リサイクルに係る諸問題の解決に向けた取り組み

- ◆消費者の負担軽減
- ◆事業者の負担軽減
- ◆自治体ごとに異なる分別ルールの標準化・統一化に向けての活動推進

税制問題

- ◆流通・サービス業の法人税負担率の軽減
- ◆軽減税率導入阻止に向けての取り組み強化
- ◆消費増税についてリセットまで視野に入れたゼロベースからの議論の徹底
- ◆税金のムダ使いへの監視・分析の強化と、減税策導入についての調査・スタディの推進

労務問題

- ◆生活産業における外国人人財の登用・育成と、会員企業の海外展開・技術移転を通じた国際貢献の枠組みの強化
 - ・外国人技能実習制度の流通サービス業への拡充
 - ・その他外国人受入れ制度改革への提言
- ◆「働きたい人が自由に働ける」制度・環境づくりへの取り組み強化
 - ・社会保険料支払い基準（130万円、106万円の壁）の見直し

《既往事業の拡充》

生団連設立来の活動テーマに基づく事業活動も発展・継続してまいります。

《組織改革》

- ◆消費者部会と企業部会の設置など

《会員増強》

事業推進や提言・発言力を強化してまいります。

《外部団体との連携強化》

「財政・予算制度改革についての提言」企業部会準備会（勉強会）の開催

10月12日（木）に「財政・予算制度改革についての提言～衆院選にあたり～」を各政党に対し申し入れました。



前日の11日（水）には、定時総会で承認された「企業部会」の準備状況の報告を兼ねた勉強会が開催され、衆院選にあたり、国民の視点に立った提言を行うべく議論が交わされました。



勉強会の前段では、明治大学公共政策大学院専任教授の田中秀明先生より、「財政規律と予算制度～選挙で財政こそ議論すべき～」の演題でご講話をいただきました。



日本の予算制度が抱える様々な問題点に対し、諸外国の財政改革・予算制度改革の事例も踏まえ、改革案をご説明いただきました。参加された約60名の皆様は非常に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。



また、後段では田中先生の講話を受けて、皆様から意見を受けて「提言」を作成、翌日には各政党に申し入れました。

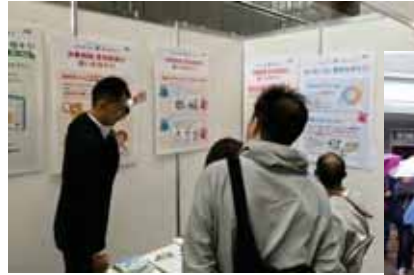
同提言に対しては、各党からも前向きに検討するといった趣旨の返答を頂戴しました。



（提言の詳細および各党からの返答書については、生団連HPでご確認いただけます）

もったいないゼロキャラバン出展

10月7日（土）に世田谷区主催「エコフェスせたがや2017」に、また15日（日）に上尾市主催「もったいないゼロ2017」に出展いたしました。食品ロス削減への意識・知識・管理のポイント等について、参加された多くの方にご理解いただける良い機会となりました。



▲野菜の保存方法等食品ロス削減のポイントを説明

▼雨二モマケズ多くの方にご参加いただきました



交流フェスタ出展



10月20日（金）、21（土）東京都消費者月間実行委員会が主催する、「交流フェスタ」に出展いたしました。「消費期限と賞味期限を理解しよう！～食品ロスをなくすために～」をテーマに、クイズラリーを通して消費期限と賞味期限の違いをご来場者の方々に説明いたしました。

ソーセージは賞味期限なんだよ！
(クイズ正解率 65%)



見て、聞いて、話そう！ 交流フェスタ

10月度定例勉強会



10月16日（月）、憲政記念館にて国際経済研究所と共催で定例勉強会を開催いたしました。今回は産経新聞東京本社編集委員・前産経新聞ソウル支局長の加藤達也氏に『日本と朝鮮半島の行方』というテーマでご講演いただきました。ソウル支局長時代のご経験や今後の日本の安全保障について、興味深いお話をいただきました。引き続き会員の皆様のご参加をお待ちしております。

生団連HP 更新情報！

- 2017.10.23 第4次安倍政権に期待すること(衆院選結果を受けての小川会長コメント)
- 2017.10.23 「財政・予算制度改革についての提言」に対する各党の返答に関する件
- 2017.10.20 【メディア掲載】「財政・予算制度改革についての提言」が各メディアに取り上げられました
- 2017.10.16 各党より返答いただきました(「財政・予算制度改革についての提言」について)
- ～10.20 (自由民主党、立憲民主党、社会民主党、希望の党、公明党、日本維新の会 ※返答順)
- 2017.10.16 食品ロス削減シンポジウム共催について
- 2017.10.10 財政・予算制度改革についての提言
- 2017.10.10 【ニュースレター】Vol.54(ソナエラボWEBサイト公開1周年！他)を発行いたしました
- 2017.10.06 会報誌VOL.21を発行いたしました。

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 中川 ☎：03-6833-0493 ✉：jimu@seidanren.jp
〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル8階 URL：http://www.seidanren.jp/